



2014年度 第5回 国際保健基礎講座

日時 : 2014年9月27日(土) 13:00 - 16:00(受付 12:30 - 12:50)

場所 : 国立国際医療研究センター 研修センター3階 会議室

講師 : 国際医療協力局 医師 宮野真輔

テーマ 『 世界の感染症対策

—開発途上国でHIV/エイズ治療はどうしているの? 』

※ 参加ご希望の方は下記HPより登録をお願いいたします。

(応募多数の場合、早めに登録を締め切らせて頂く場合があります。ご了承ください。)

HP : <http://www.ncgm.go.jp/kyokuhp/>

〈講師紹介〉

宮野真輔(みやのしんすけ)

国立国際医療研究センター国際医療協力局
医師

2002年 福島県立医科大学卒業

2002～2007年

国立国際医療センター内科・呼吸器科勤務
2008年

マヒドン大学熱帯医学修士過程修了

厚生労働省結核感染症課結核専門官を経て、
現職へ。

2010年～2012年1月

HIV/エイズケア専門家として海外派遣

2012年1月～2013年3月

HIV/エイズケア関連プロジェクトチーフアドバイ
ザーとして海外派遣

現在はUNICEF,WPRO等へ専門家として派遣され
ている。



〈講座紹介〉

アフリカ南部に位置し、日本の国土面積の2倍を有するA国。

A国は近隣諸国でもHIV感染率が高い国で、深刻な社会問題となっています。

以前はあまりに高額でHIVの治療に手が届かなかったA国の人々にも、治療薬の無料化により治療を受けることができる人の数は急激に増えました。

しかし・・・様々な問題から、人々が早期にHIVの感染を知り、適切な治療・ケアサービスを受ける体制には至っていません。

さて、このような状況を改善するためには、どのような情報が必要でしょうか、また、どんな活動が考えられるでしょうか？

そして、実際に行った活動とは！？